

STOP! 精神医療センター富谷移転、
2・23 みやぎユーザーズアクション

“声なき声と共に”

Action News

アクションニュース

vol.036

2023.11.24

【毎週金曜日発行】

stop.iten0223@gmail.com

私たち抜きに
私たちのことを
決めないで!

私たちの町の
大切な病院を
なくさないで!

Stop!

県立精神医療センター
東北労災病院

仙台赤十字病院
県立がんセンター

4病院再編・移転 県庁前アピール行動

鍵握る
新県議会の開会日

11/28(火)

雨天決行

12:00~13:00

11.4ユーザーズアクションII 参加者の方からのご意見...P2

連載記事:【解説】移転問題その3...P3

Nothing about us without us!

私たち抜きに私たちのことを決めないで!



facebook

11.4ユーザーズアクションII 参加者の方からのご意見



11.4ユーザーズアクションII 参加者の方からのご意見

11月4日(土)のユーザーズアクションIIで参加者の方々から寄せられたご意見を掲載します。

活動に賛同する沢山の反響をいただきユーザーズアクション一同、とても感謝しております。ありがとうございました。

参加者から寄せられた感想

●貴重なご意見、ご報告をありがとうございました。距離は遠い地域にいて、我がこととしてとらえることが難しいな～と感じていましたが、今日のシンポジウムでまさに我がこととなりました。“民主主義の問題提起”という言葉に納得！！
当事者の力強い声に感動しました。

●河北新報記事からは本日のような内容を読み取ることができませんでした。よく理解できました。人権問題なんだと気づかされました。

●知りたいことがよく分かった。人権とみやぎUAの理念や考えもよく分かった。

●アピール大行動に続き、より運動が拡大していると感じた。もっともっと盛り上げてきましょう。

●聞いていてずっと頭痛が止まらなかった。あまりの理不尽に理解が追いつけなかったのだと思う。

●通院15年、精神医療センターは自分にとってなくてはなら

ないものです。名取市にずっと移転せずにあってほしい。

●大変すばらしい企画であり、勉強になりました。今後の活動を期待しており、仙台市民の一人としてpowerを育てていきましょう。

●大変充実した内容と資料でありがとうございました。

●当事者、病院関係者、近隣住民の長年の理解に基づいて、現在に至っていること、精神の病はほかの病気とは大きい違いがあること。

●様々な方面からの反対意見を聞くことができよかったです。これからも頑張りましょう。

●シンポジストのおひとりおひとりの力強い訴えに知事が見直す気持ちが動かないことに怒りを感じます。

●参加してよかったです。

●困っている人達の意見をまともに聞こうとしない村井知事はおかしい。

●これぞ民主主義の実践。素晴らしい！単なる病院集中統合という問題ではないということです。原田幸一さんの説明がわかりやすかったです。

●参加してよかったです。ありがとうございました。

●ユーザーズアクションの考え方、理念が重要だということがよくわかりました。納得しました。(移転が法的に問題だということ以上に)

●宮城県における精神科医療の「南北問題」の存在それが全く解消されないまま移転計画が強行されることがよく分かった。また知事が当事者や利用者の声を黙殺しそれだけでなく、彼らの声を恣意的に利用していることに怒りを覚えた。

●精神障害者の方にとって移転(富谷)は大きな障害となることが分かった。審議会でも反対している理由がよくわかりました。

●新しくできる施設にもそこに住む患者さんたちの意見が反映されて楽しく過ごせる施

設ができるべきですね！

【解説】移転問題.....その3

それによって何か解決したでしょうか。よく考えていただきたいのです。精神障害者を長期に入院させることで莫大なお金がかかっていました。そして、精神障害者自身回復することからは程遠い状態にあったのです。

県立精神医療センターの富谷移転とは、患者が回復していくという視点からは程遠いものです。移転しなければ、建替はどうする。病院が潰れると言う人がいます。しかし、移転すれば、仙南の地域から精神科医療そのものがなくなります。名取には多くの精神障害者が集まっています。わざわざ名取に来て、暮らしている方は少なくありません。

村井知事と県は県全体のためと主張しています。しかし、県全体とはどこを指しているのでしょうか。富谷市周辺に精神障害者が集中しているのでしょうか。仮に富谷に移転したとしても、富谷市周辺に住む人が便利なだけで、北や南、沿岸部、仙台市など多くの人にとっては、使い勝手の悪い病院のはず

です。

県の財政と言いますが、県立精神医療センターは移転しても、県立のままです。そして、富谷市から移転の建設用地をわざわざ購入しなければなりません。何か病院の経営に資するものがあるのでしょうか。

今病院のある敷地に建替えるというのは、とても現実的です。その敷地は県が所有しています。また周辺の土地もそうです。県は道路からの侵入経路が狭い、救急車両のため乗り入れを作らなければならない、住宅密集地であると様々な理由を述べ立てます。ならば、まず具体的で詳細な調査をするべきです。どのくらいお金がかかり、どのくらい時間がかかるのか。そして、富谷に移転する場合ときちんと比較するべきです。そのような手続きもしないで、移転計画を進めることは強引以外の何ものでもありません。

つづく

(原田幸一)